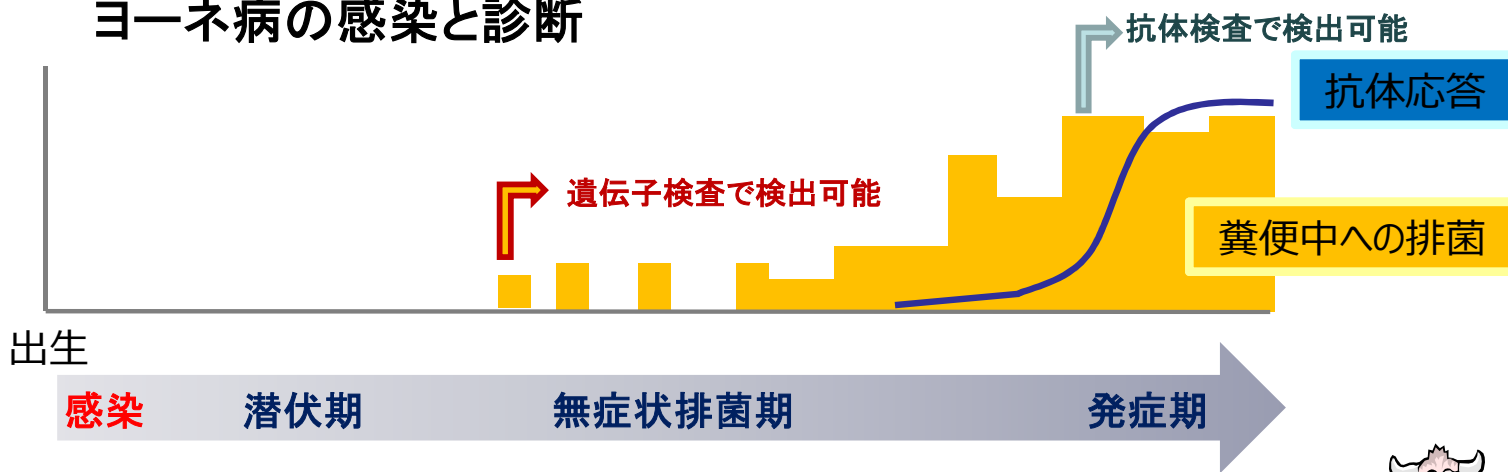


感染牛を早期に摘発する迅速診断法によりヨーネ病の防疫に貢献

- ・糞便中に排出されたヨーネ菌DNAを高感度かつ特異的に検出する遺伝子診断法を開発しました。
- ・抗体検査では摘発が難しい無症状排菌牛を数時間の検査で検出することができます。
- ・遺伝子検査の導入により、ヨーネ病防疫対策の効率化と清浄化の促進が期待されます。

ヨーネ病の感染と診断



- 抗体検査は感染後期のみで有効
- 培養検査は早期から有効だが、検査に2か月以上かかる

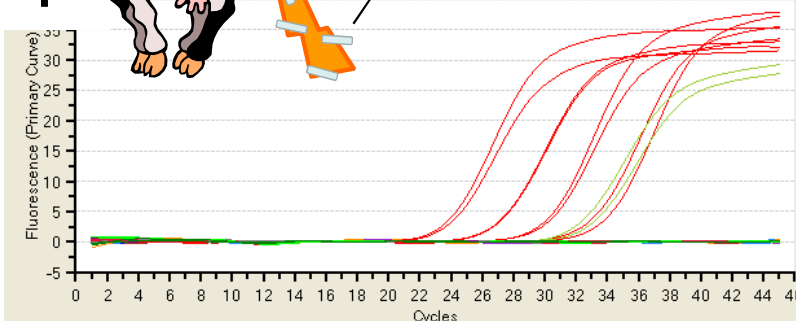
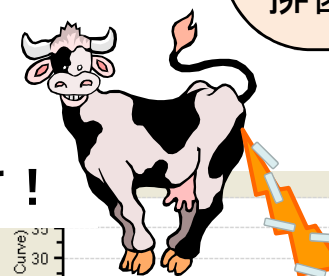
抗体検査よりも**早期**に
培養検査よりも**迅速**に
排菌牛を摘発するには...?

遺伝子診断薬
「ヨーネジーン」

数時間の検査で
排菌牛の摘発が可能です！

ヨーネ菌DNAをリアルタイムPCRにより
検出・定量するための検査キット

(民間企業との共同研究により製品化)



☎ 詳しい情報を知りたい、という方はお気軽にご連絡ください。

(国研)農研機構 動物衛生研究部門 企画連携室

TEL:029-838-7937

FAX:029-838-7907

Email: xx145116@affrc.go.jp